

教育課程表

(言語聴覚専攻科)

科目区分	授業科目名	単位数	必修・選択	配当学年・学期	形式	備考
専門基礎科目	医学総論(公衆衛生・精神保健含む)	1	必	2 後	講義	
	解剖学	1	必	1 前	講義	
	生理学	1	必	1 前	講義	
	病理学	1	必	1 前	講義	
	内科学(老年医学含む)	1	必	2 前	講義	
	小児科学	1	必	2 前	講義	
	精神医学	1	必	1 後	講義	
	リハビリテーション医学	1	必	1 後	講義	
	耳鼻咽喉科学	1	必	1 前	講義	
	臨床神経学	1	必	1 後	講義	
	形成外科学	1	必	2 後	講義	
	臨床歯科医学	1	必	1 前	講義	
	口腔外科学	1	必	1 後	講義	
	呼吸発声系医学(呼吸発声発語系の構造、機能、病態)	1	必	2 前	講義	
	聴覚系医学(聴覚系の構造、機能、病態)	1	必	2 前	講義	
	神経系医学(神経系の構造、機能、病態)	1	必	1 前	講義	
	臨床心理学Ⅰ(理論と分類)	1	必	1 前	講義	
	臨床心理学Ⅱ(査定と心理療法)	1	必	1 後	講義	
	生涯発達心理学Ⅰ(乳幼児期)	1	必	1 前	講義	
	生涯発達心理学Ⅱ(幼児期～老年期)	1	必	1 後	講義	
	学習・認知心理学Ⅰ(感覚・知覚・学習・記憶)	1	必	1 前	講義	
	学習・認知心理学Ⅱ(思考・言語)	1	必	1 後	講義	
	心理測定法	1	必	1 後	講義	
	言語学Ⅰ(音声学・形態論)	1	必	1 前	講義	
	言語学Ⅱ(文法・意味・社会言語学)	1	必	1 後	講義	
	音声学	2	必	2 前	講義	
	音響学Ⅰ(一般音響学)	1	必	1 前	講義	
	音響学Ⅱ(音響音声学・聴覚心理学)	1	必	1 後	講義	
	言語発達学	1	必	1 前	講義	
	リハビリテーション概論	1	必	1 前	講義	
	社会保障制度	1	必	2 前	講義	
	医療福祉教育・関係法規	1	必	2 後	講義	
	小計(32科目)		33 0			

専門科目	言語聴覚障害学概論	1	必		1	前	講義
	言語聴覚障害診断学	1	必		1	後	講義
	言語聴覚障害特論	2	必		2	前	講義
	失語症Ⅰ(基礎)	1	必		1	前	講義
	失語症Ⅱ(評価)	1	必		1	後	講義
	失語症Ⅲ(訓練)	1	必		1	後	講義
	失語症Ⅳ(臨床講義)	1	必		2	前	講義
	高次脳機能障害Ⅰ(概論)	1	必		1	前	講義
	高次脳機能障害Ⅱ(評価)	1	必		1	後	講義
	高次脳機能障害Ⅲ(臨床)	1	必		2	前	講義
	言語発達障害Ⅰ(援助法-基礎)	1	必		1	前	講義
	言語発達障害Ⅱ(概論)	1	必		1	前	講義
	言語発達障害Ⅲ(評価法-基礎)	1	必		1	前	講義
	言語発達障害Ⅳ(評価法-各論)	1	必		1	後	講義
	言語発達障害Ⅴ(援助法-各論)	1	必		2	前	講義
	言語発達障害Ⅵ(援助法-応用)	1	必		2	後	講義
	言語発達障害Ⅶ(援助法-臨床)	1	必		2	前	講義
	音声障害	1	必		2	前	演習
	構音障害Ⅰ(臨床の基礎)	1	必		1	前	講義
	構音障害Ⅱ(機能性)	1	必		1	前	講義
	構音障害Ⅲ(器質性)	1	必		1	後	講義
	構音障害Ⅳ(運動障害性)	1	必		1	後	講義
	嚥下障害Ⅰ(基礎と評価)	1	必		1	前	講義
	嚥下障害Ⅱ(訓練と画像診断)	1	必		1	後	講義
	嚥下障害Ⅲ(事例・臨床)	1	必		2	前	講義
	嚥下障害Ⅳ(チームアプローチ)	1	必		2	後	講義
	吃音	1	必		1	後	講義
	聴覚障害Ⅰ(概論)	1	必		1	前	講義
	聴覚障害Ⅱ(聴覚検査法)	2	必		1	後	講義
	聴覚障害Ⅲ(各論)	2	必		2	前	講義
	補聴器・人工内耳	1	必		2	後	講義
	視覚聴覚二重障害	1	必		2	後	講義
	臨床実習Ⅰ	1	必		1	前	実習
	臨床実習Ⅱ	5	必		1	後	実習
	臨床実習Ⅲ	6	必		2	通	実習
小計(35科目)			47	0			
合計(67科目)			80	0			

卒業要件及び履修方法

専門基礎科目33単位、専門科目47単位、合計80単位の履修により修了とする。